

経営学部 国際経営学科

教育研究上の目的

本学部は、個人の人格と学問の自由を尊重しつつ、世界各国のさまざまな経営風土において活躍するために必要な教養と経営学に関する学識を身に付け、国際社会で求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を有する実力ある人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学部の教育研究上の目的等を踏まえ、経営学部国際経営学科では、グローバル化する経済社会においてこれから真に国際人として活躍できる人材を育成するために、初年度教育の強化、語学学習の習熟度別集中授業展開、少人数ゼミナールの必修化、双方向授業の拡充、専攻科目の英語による授業開講数の増大、時代のニーズに即した講義科目の設置、そして海外大学での長短期にわたる学修機会の多様化と海外からの留学生の受け入れ強化をとおして、経営学に関する広範な学識をもとに、世界各地の異なる経営風土のなかで発生する諸問題の的確な把握と分析力を身につけると同時に、問題解決に向けて国際社会のさまざまな場所で人々の協働を発意し、うながすことのできる実践力とコミュニケーション能力を身につけることを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学科のカリキュラムにおいて、授業科目や卒業論文を含む演習科目を合わせて4年間に所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる知識や能力を身につけていると判断し、学士(国際経営学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1) 複雑多様な問題の本質を究明し、自己の意見を形成し、主体的に行動する態度を身につけている。
- (2) 創造的・主体的に問題解決にあたる実践的能力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1) 世界各国のさまざまな文化的・社会的多様性を理解できる能力を身につけている。
- (2) 世界で活躍するに必要な、教養と語学力に裏付けられたコミュニケーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1) 経営学全般にわたる専門的知識を身につけている。
- (2) 世界各国の経営風土を理解できる、「国際経営」に関する専門的知識を身につけている。
- (3) 創造的な問題解決能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、経営学の学識と世界各国で活躍するために必要となる教養を備え、問題解決能力とコミュニケーション能力を有する実力ある人材を育成するために、多彩な教育スタッフによって計画的・組織的に、以下に示した方針で教育課程の編成と評価を行っています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1) 経営学の入門科目から実践的な専門科目まで体系的な学びができるようにカリキュラムを編成しています。本学科の教育課程は、必修科目群と選択必修科目群、選択科目群の3群から構成され

ます。必修科目群は大学入学初年次生を対象に、本学科で学ぶことになる国際経営に関する基礎的な科目群(「国際経営基礎科目(必修)」)と、2年次演習、3・4年次生対象の専門演習Ⅰ～Ⅳから構成されています。必修の「演習」(ゼミナール)における少人数指導によって、さらに専門的知識を深め、問題の本質を究明し解決する実践力とプレゼンテーション能力を涵養します。

- (2)選択必修科目群は、経営学に関する基礎的な知識を身につけるために、マネジメントや会計、マーケティング・デザイン経営など基礎的な専門科目(「国際経営基礎科目(選択必修)」)で構成されています。
- (3)選択科目は、「ショップ」という科目群とプログラム科目、関連科目から構成されています。ショップには、マネジメント、会計、マーケティング・デザイン経営、国際理解という4つの分野があり、卒業するまでにそれらのショップから一定程度の複数の科目を履修し、修得することが求められます。

2. 教育の方法と評価

- (1)学生は、個人個人の将来のキャリアを設計する中で、それに相応しい専門ショップを選択して、そのショップのなかの科目を履修することになります。これらの科目は非系統的な履修とならないよう、選択ショップの必要最低修得単位数を設定し、専門性と体系性を深めていけるようにしています。
- (2)初年次ゼミの「ファースト・イヤー・セミナー(FYS)」および経営学部独自の「2年次演習」を通じて、論理的思考力やコミュニケーションスキルなどの基礎的なスキルを学ぶとともに日常的な学修活動のサポートを行っています。
- (3)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

1. 大学教育によって培う能力

- (1)本学科は、世界各国のさまざまな経営風土において活躍するために必要な教養と経営学に関する学識を身につけ、国際社会で求められる問題解決能力とコミュニケーション能力を有する実力ある人材を育成します。

2. 本学部の求める入学者

- (1)企業や組織の経営と、政治・経済・国際・異文化・地域問題等に強い関心を持っている人
- (2)大学での学修を自らの将来の進路に結びつけ、確固とした意志をもって目標に向かって努力する人
- (3)課外活動、ボランティア活動、資格取得等に熱心に取り組み、入学後もチャレンジしたいと考えている人
- (4)社会人としての基礎力と応用力を養い、同時に国際人としての幅広い教養を身につける意識の高い人

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1)一般入試、給費生試験、大学入学共通テスト利用入試では、経営学部での学修に必要な基礎学力を、高等学校での学習の到達度をもとに判断します。ただし、給費生試験では書類審査を含めて総合的に判断します。
- (2)学校推薦型選抜である指定校制推薦入試と、総合型選抜、外国人留学生入試があります。指定校制推薦入試では、指定校の学校長からオールラウンドの勉学力にもとづいて推薦を受けた人を対象に、学部教員による面談を通じて選考を行います。総合型選抜では、本学において積極的に学ぶ意志を持つ者を対象に、小論文、面接または適性検査等による選考を行います。外国人留学生入試では、筆記試験に加え、面談において日本語学力を含む勉学の継続可能性を判断して選考を行います。